

実態調査結果の報告について

1 調査の目的・調査種類・項目・回収率・調査方法

目的	「第三期三鷹市障がい者（児）計画」（計画期間令和6～8年度）を令和5年度に策定するにあたり、市民の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画の基礎資料とすることを目的として実施した。					
調査対象（調査種類）	18～65歳未満の障がい者等※	18歳未満の障がい児等※	入院中の精神障がい者	施設入所者	医療的ケア児・者	高齢障がい者
対象者数	2,222人	401人	189人	123人	40人	219人
	合計 3,194人					
調査項目	（ア）福祉サービスの利用状況や利用意向、日常生活や社会参加の現状と課題、災害時対策、差別、権利擁護等		（イ）現状や将来の生活などの地域移行の意向		（ウ）福祉サービスの利用状況、ケア提供者の状況等	（ア）と同じ項目
回収率	37.7%	47.4%	41.8%	78.0%	77.5%	43.8%
調査方法 調査期間	郵送方法：郵送により実施。（一部Web回答可） 調査期間：令和4年9月から10月に2回に分けて実施 ※障がい福祉サービス事業所については、令和5年1～2月に実施					

※身体・知的・精神の各障害者手帳所持者、自立支援医療（精神通院）受給者、難病医療費助成受給者

2 主な調査結果（「第二期三鷹市障がい者（児）計画」の重点課題について）

① 情報提供

情報の入手方法について
障がい者調査では、1位「広報みたか」（28.7%）、2位：「インターネットやSNS」（25.0%）、障がい児調査では、1位「友人や知人」（36.3%）、2位：「広報みたか」（31.6%）でした。
情報入手やコミュニケーションで困ること
前回調査と同様に「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」（者23.5%・児34.2%）「話をうまく組み立てられない・質問できない」（者21.7%・児49.5%）「複雑な文章表現がわかりにくい」（者17.7%・児41.6%）の3つが上位に上がりました。

② 就労の促進

障がい者の就労に必要なこと
1位：「多様な働き方が広がること」（51.4%） 2位：「雇う側の理解が進み積極的に雇うこと」（50.7%）

③ 地域移行

退院にあたって心配なこと
1位：「現在の病気のこと（病状、服薬、病院等）」（57.4%） 2位：「住む場所のこと」（23.4%）、3位「家事のこと」（21.3%）でした。 「住む場所のこと」「家事のこと」が心配な人の割合は前回調査より減少しています。

④ 障がい児支援

放課後等の過ごし方
1位：「外出はあまりせずに自宅にいる」（40.5%）、2位：「障がい福祉施設に通う」（31.1%）、3位：「保護者と一緒に出かける」（6.8%）でした。 前回調査より「障がい福祉施設に通う」の割合が増加しています。
参加している地域活動・行事について
参加している地域活動・行事については、「趣味や娯楽の活動」（16.8%）「障がい者関係の活動や行事」（4.7%）「町内会や自治会の活動や行事」（4.7%）でした。「趣味や娯楽の活動」への参加は前回調査より1ポイント増えました。最も多いのは「ほとんど参加していない」（70.5%）でした。

⑤ 地域での生活のしやすさ

外出時などに困っていること
1位：「特に困っていることはない」（40.1%）、2位：「歩道が狭い、道路に段差が多い」（16.4%）、3位：「他人との会話が難しい」（15.9%）でした。
希望する暮らしをするうえでの心配
障がい者調査では、1位：「健康に関すること」（50.2%）、2位：「生活するための資金」（46.7%）、3位：「障がいの状態に関すること」（32.0%）でした。 障がい児調査では、1位：「仕事に関すること（就職、復職）」（68.9%）、2位「生活するための資金」（59.5%）、3位：「人間関係（家族、友人、隣人など）」（57.4%）でした。 将来、主に介助・援助している人（家族など）が先に亡くなったり、高齢になって介助が難しくなったりした時に備えて、何か準備をしていますか。 1位：「特に準備していない」（73.4%）、2位「準備はしていないが家族等と話し合っている」（15.2%）、3位「具体的に準備している」（5.3%）

⑥ 相談支援

相談できる人
障がい者、障がい児調査ともに、「家族・親戚」が第1位でした。
相談で困ること
「特に困ることはない」と回答した方は、障がい者調査では、38.9%、障がい児調査では28.9%いました。次いで「相談しても満足いく回答が得られない」（者22.6%、児30.5%）「どこ（誰）に相談したらよいかわからない」（者18.2%、児28.9%）でした。

⑦ 災害対策、緊急時対応※

災害時の準備をする上で、困っていること
1位：「備蓄を保管するスペースがない」（24.9%）、2位：「備蓄を用意する経済的余裕がない」（21.5%）、3位：「何を用意すればいいかわからない」（20.0%）でした。 「特に困っていることはない」と回答した方は20.3%でした。
避難所での生活に必要な支援について
1位「救援物資の配給（72.5%）」、2位「プライバシーの確保（57.8%）」、3位「医療的ケアが受けられる設備の確保（36.7%）」でした。

⑧ 共生社会の実現※

差別や嫌な思いをしたことがあるか
「特になかった」（59.4%）でした。前回調査より2ポイント増えています。 「よくあった」「少しあった」と回答した方は、32.3%でした。 前回調査より5.4%減少しています。
余暇活動としてしたいこと
1位「買い物」（49.8%）、2位「旅行」（43.6%）、3位「映画館や文化施設・レジャー施設」（43.0%）でした。前回調査より「買い物」の割合が増加しています。

3 三鷹市が今後重視すべき取り組み

● 障がい者調査（回答者数：837人・複数回答）

取り組み	人数
障がいのある人もない人も理解し協力すること	412人
障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	381人
要介護になった時に生活できる場所の確保	365人
安心して医療を受けられるようにすること	362人
障がいのある人への相談窓口を充実させること	334人
企業で働けるように支援すること	333人

● 障がい児調査（回答者数：190人・複数回答）

取り組み	人数
障がいのある人もない人も理解し協力すること	122人
障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	108人
企業で働けるように支援すること	101人
個性を生かした保育や教育を進めること	98人
自立のための暮らし体験ができる場があること	95人
自立して暮らせるようにすること	90人